



# 茨城県の経済情勢報告

令和7年4月22日  
財務省関東財務局水戸財務事務所

本件に関するお問い合わせ先

水戸財務事務所財務課

電話 029-221-3180

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（7年1月判断）	今回（7年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）7年4月判断は、前回7年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している。生産活動は一進一退の状況にあり、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（7年1月判断）	今回（7年4月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している	
生産活動	弱含んでいる	一進一退の状況にある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
設備投資	6年度は増加見込みとなっている	6年度は増加見込みとなっている	
企業収益	6年度は増益見込みとなっている	6年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「下降」超幅が縮小している	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や、通商政策などアメリカの政策動向による影響などが、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額はいずれも前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれも前年を上回っている。このほか、飲食サービスなどは持ち直しの動きがみられる。

このように、個人消費を全体としてみると、物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している。

#### (主なヒアリング結果)

- 客単価の上昇により売上高は前年を上回っているものの、客数や買い上げ点数は減少している。物価高が継続する中、消費者の財布の紐は固くなっており、特売など目玉商品を作らないと集客が難しくなっている。(百貨店・スーパー)
- 気温が低く春物衣料の動きが鈍かったが、足下では気温の上昇に伴い販売が伸びている。また、手軽に旅行気分が味わえる物産展などの催事が好調。(百貨店・スーパー)
- 節約志向により一人当たりの買い上げ点数は減少傾向にあるものの、値上げにより客単価が上昇しており、売上高が増加している。足下では米の価格上昇に伴いパンの売行きが良い。(コンビニエンスストア)
- 2月は寒い日が続いたことで暖房器具やカイロなどの防寒用品の需要が高まった。3月は新生活に向けた商品が好調だったほか、4月からの値上げを前に、飲料、トイレトペーパーなどで駆け込み需要があった。(ホームセンター)
- ガソリン価格の高騰が続いていることから維持費が抑えられる小型車やハイブリッド車の販売が堅調。(自動車販売)
- 外食需要の回復による客数の増加や価格改定による客単価の上昇を背景に、売上高は前年を上回って推移している。特に3月は送別会需要が高まったため、企業関係の団体客が前年に比べて増加するなど好調であった。(飲食サービス)
- 大阪・関西万博関連商品の取扱いを開始したことで、近畿方面のツアーの販売が好調。(旅行)
- 物価高の影響を受け客室単価を上げているものの、梅まつりなどの観光需要やビジネス需要に支えられ、稼働率は前年を上回っている。(宿泊)

#### ■ 生産活動 「一進一退の状況にある」

生産を業種別にみると、電気機械や輸送機械が増加し、食料品が底堅く推移しているものの、化学や生産用機械が減少しているなど、生産活動は一進一退の状況にある。

#### (主なヒアリング結果)

- 物価高でも高機能・高付加価値商品の需要は底堅く推移していることから、小売店に販売強化の動きがあり、生産量を増やしている。(電気機械)
- 認証不正問題による生産停止の影響から回復しつつある。フル生産には至らないものの、生産量は増加している。(輸送機械)
- イベントや行楽が回復して需要は増加傾向にあるが、人手不足の影響で工場の稼働率が7割程度に抑制されており、生産量は前年並みとなっている。(食料品)
- 北米向けの販売が低迷していることや、欧州の金利高を背景とした建設工事の減少により生産量が下押しされている。(生産用機械)

#### ■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

新規求人数は減少しているものの、有効求人倍率は底堅く推移している。雇用保険受給者実人員は前年を下回っている。人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあるなか、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

#### (主なヒアリング結果)

- 人手不足感が強い。人手不足により販売機会を逃さないように、人材派遣を活用している。(小売業)
- 離職が多く、定着率の低さが課題となっている。人手不足解消のため、採用活動を強化している。(製造業)

#### ■ 設備投資 「6年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年1-3月期

- 6年度の設備投資は、製造業では前年比35.8%の増加見込み、非製造業では同1.2%の減少見込みとなっており、全産業では同18.1%の増加見込みとなっている。

#### ■ 企業収益 「6年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」7年1-3月期

- 6年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)は、製造業では前年比67.5%、非製造業では同3.5%の増益見込みとなっており、全体では同35.1%の増益見込みとなっている。

#### ■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、前四半期(6年10~12月期)に比べ、「下降」超幅が縮小している。先行きについては、7年4~6月期も「下降」超で推移する見通しとなっている。

#### ■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、貸家が前年を上回っているものの、持家、分譲住宅が前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

#### (主なヒアリング結果)

- 物価高の継続や住宅ローン金利の上昇に対する懸念を背景に消費者の住宅購入意欲は低迷しており、受注が伸び悩んでいる。(住宅建設)

#### ■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、前年を下回っている。

# 茨城県の経済情勢報告

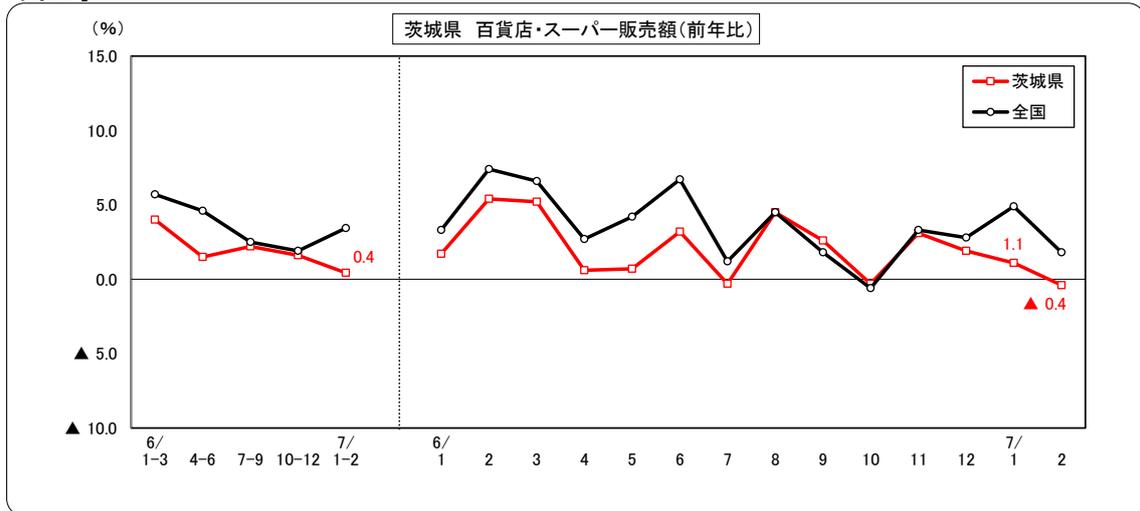
## 資料編

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 個人消費

物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している

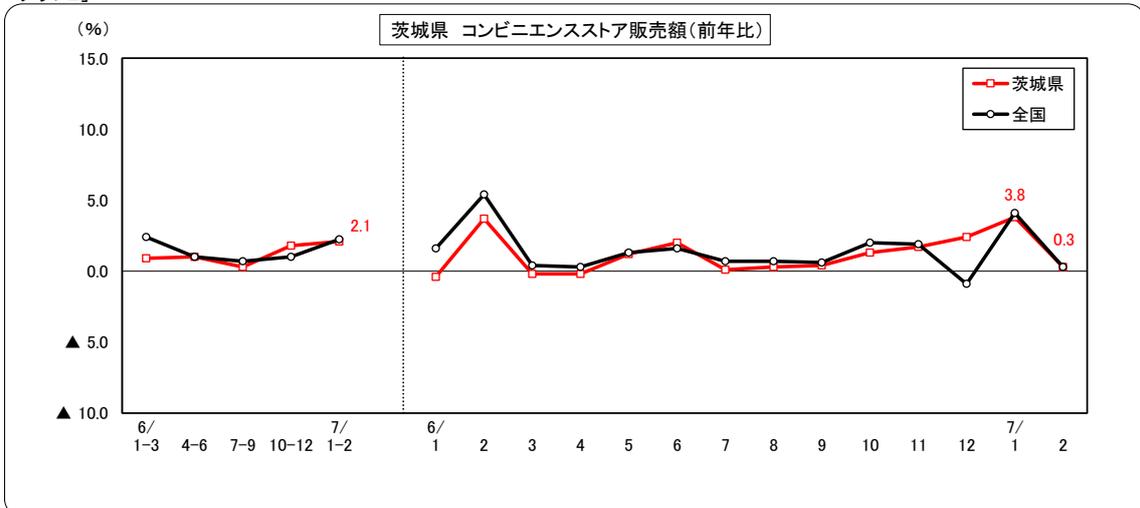
「グラフ1」



(注)全店ベースの数値。7年2月の値は速報値。

(資料:経済産業省)

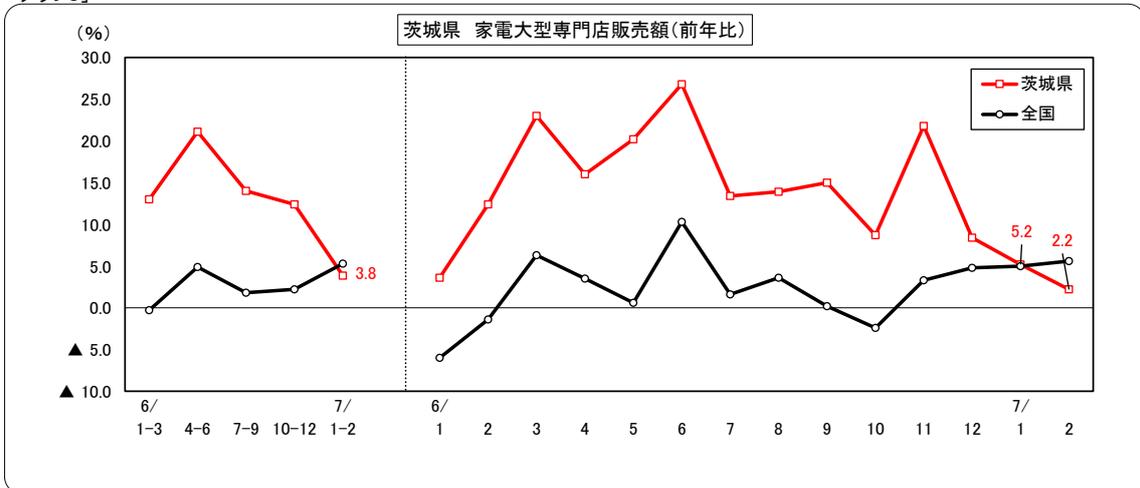
「グラフ2」



(注)全店ベースの数値。7年2月の値は速報値。

(資料:経済産業省)

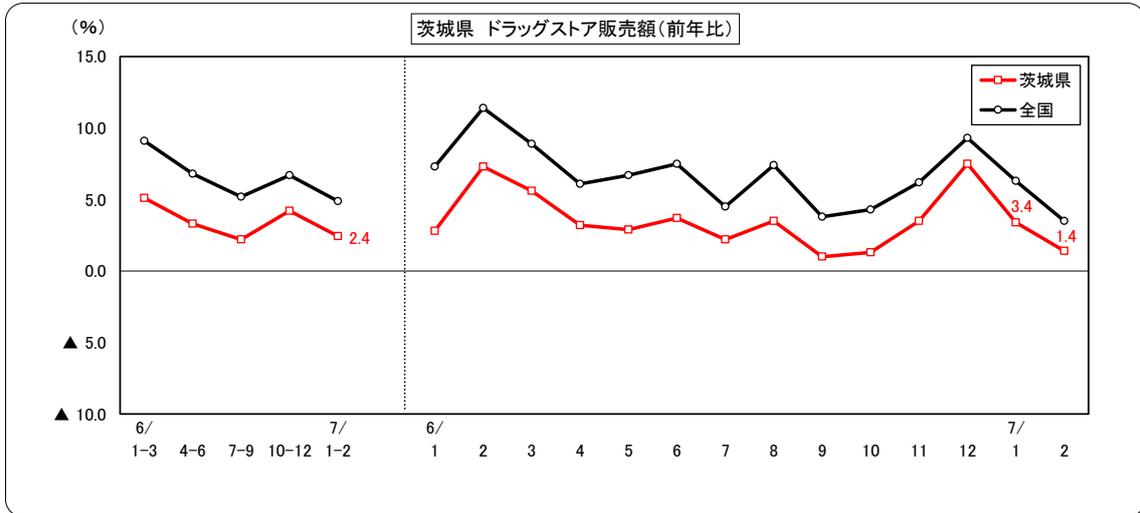
「グラフ3」



(注)全店ベースの数値。7年2月の値は速報値。

(資料:経済産業省)

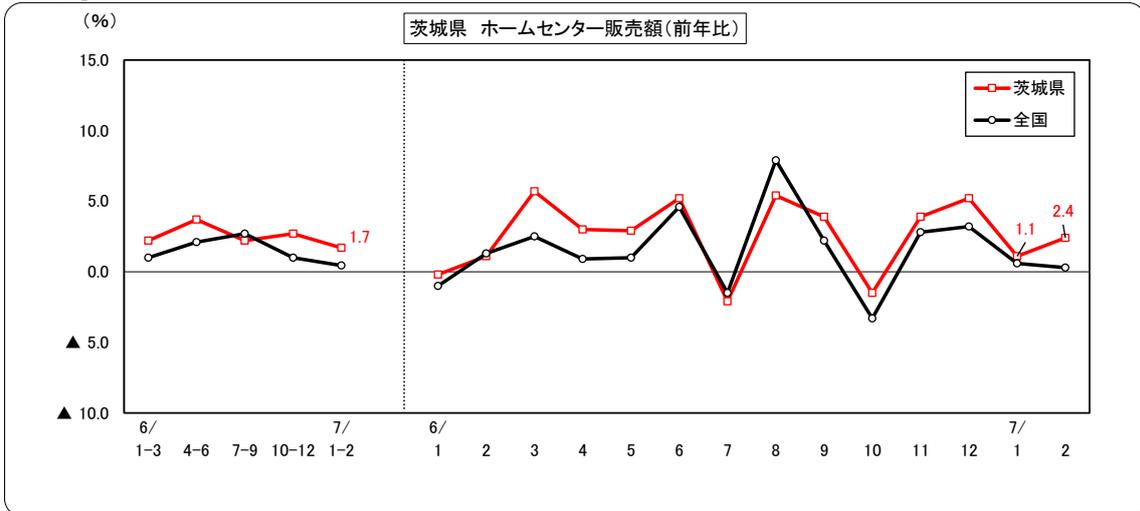
「グラフ4」



(注)全店ベースの数値。7年2月の値は速報値。

(資料:経済産業省)

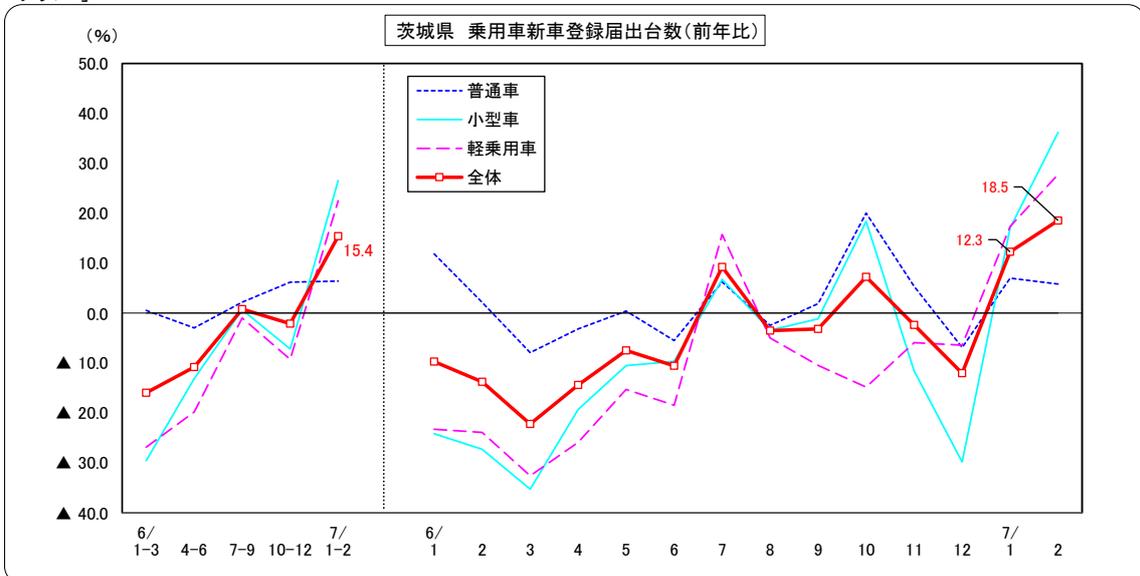
「グラフ5」



(注)全店ベースの数値。7年2月の値は速報値。

(資料:経済産業省)

「グラフ6」



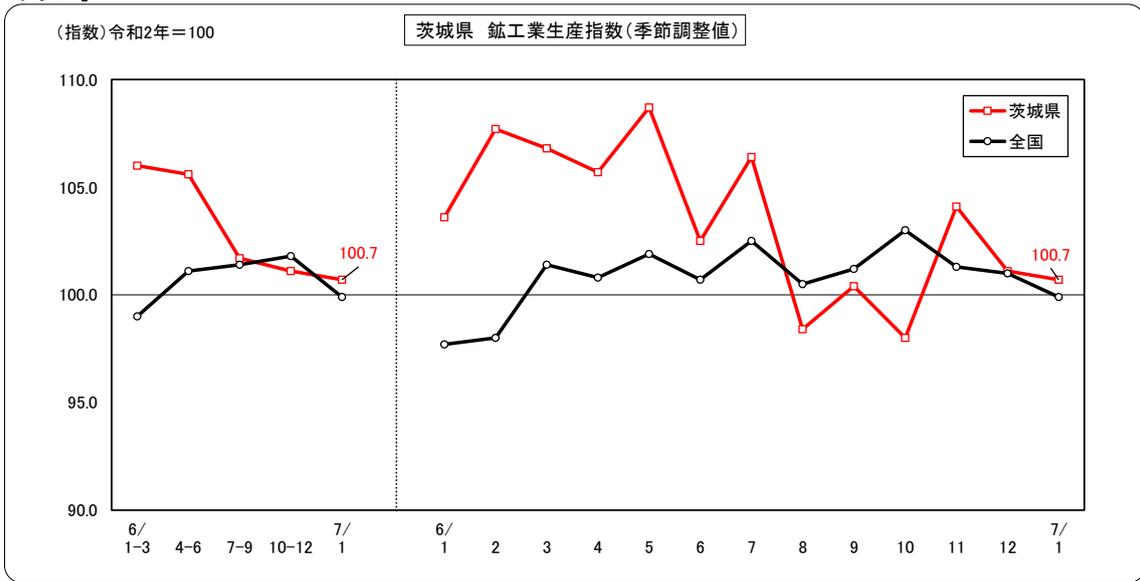
(注)乗用車新車登録届出台数は、ナンバーベースで普通車・小型車・軽乗用車の合計。

(資料:日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)

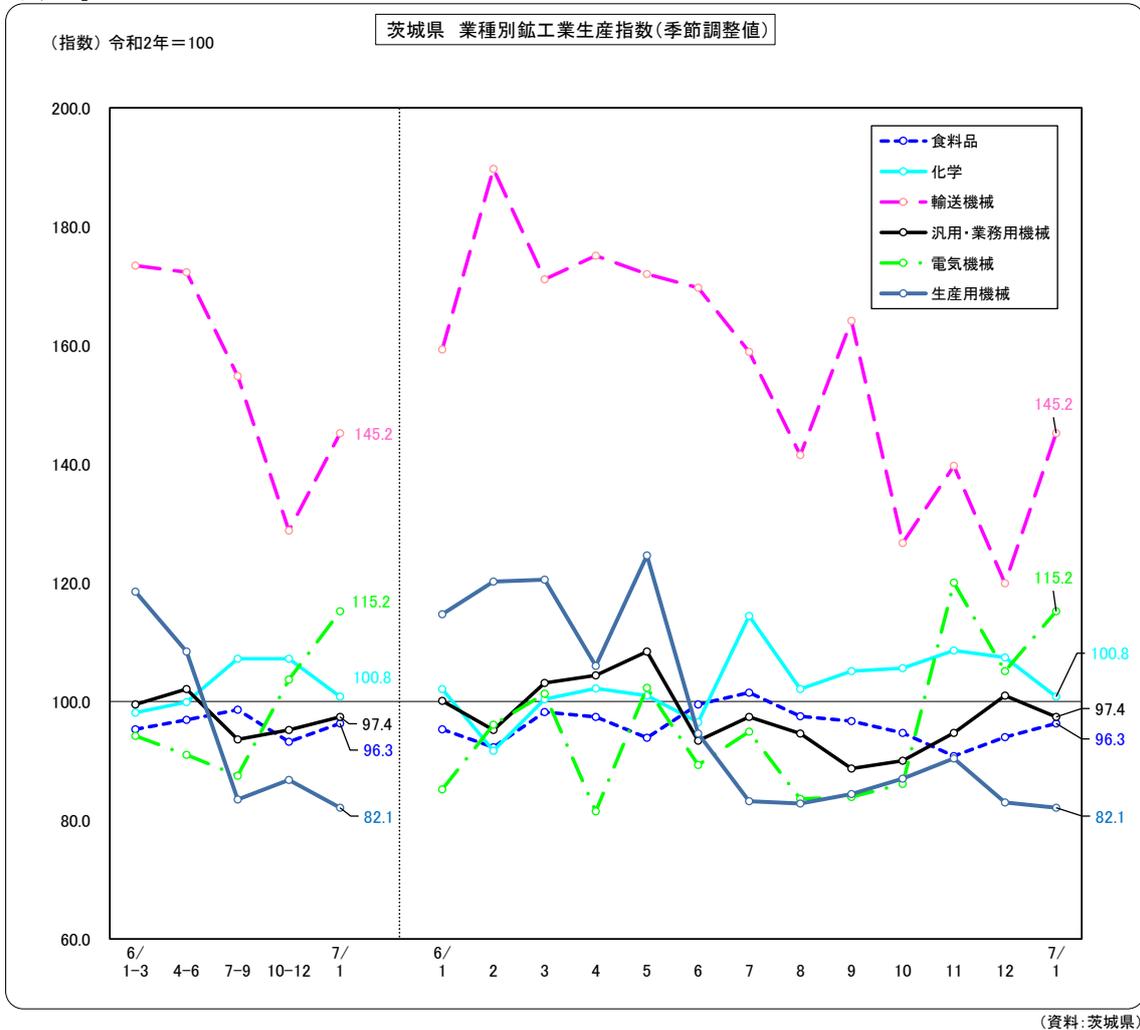
2. 生産活動

一進一退の状況にある

「グラフ7」



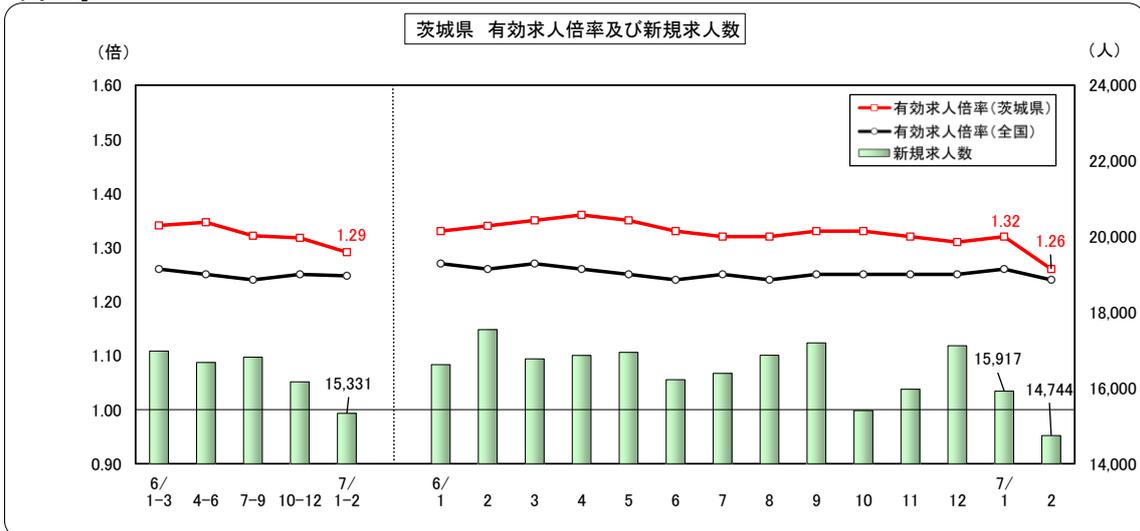
「グラフ8」



### 3. 雇用情勢

## 緩やかに持ち直している

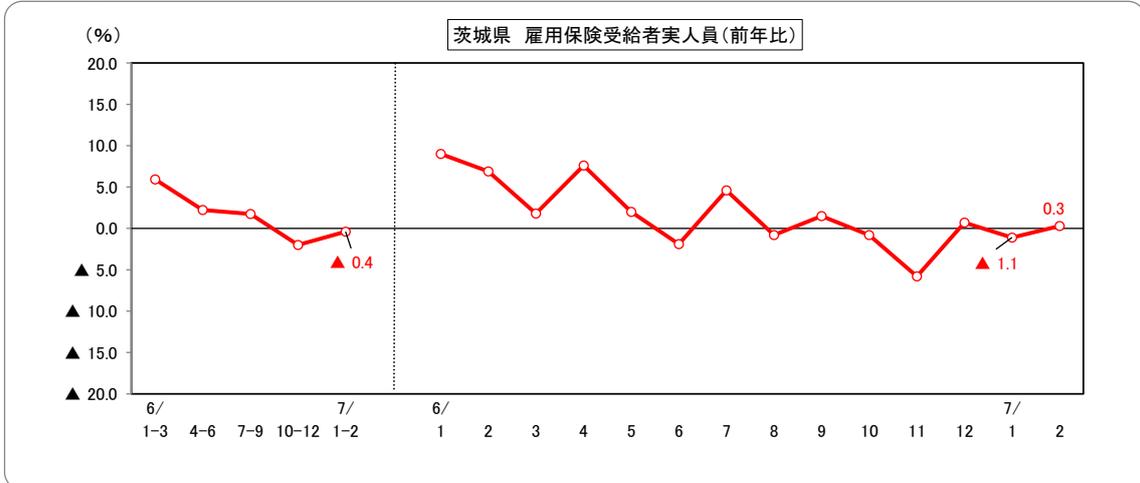
「グラフ9」



(注)パートタイムを含む季節調整値。新規求人数の四半期及び7年1-2月の値は月当たりの平均。

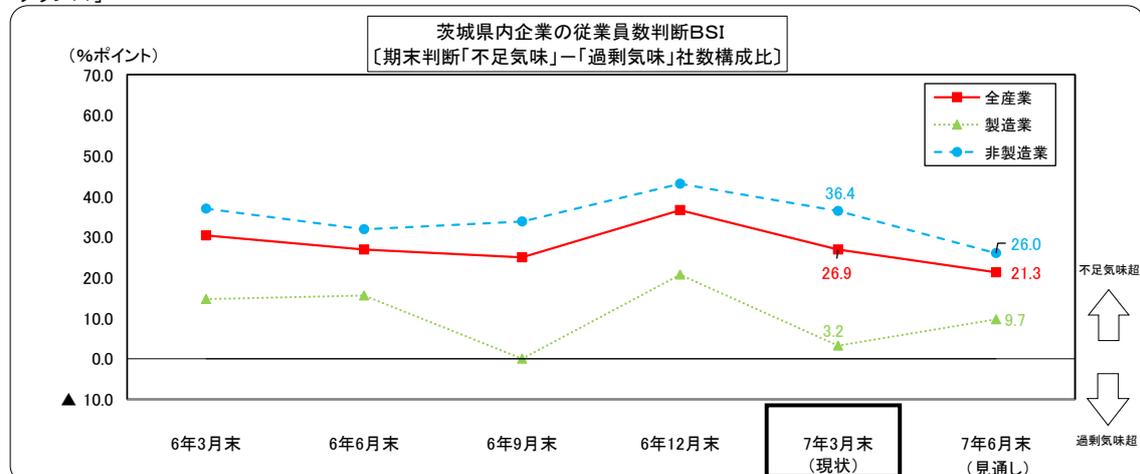
(資料:厚生労働省、茨城労働局)

「グラフ10」



(資料:茨城労働局)

「グラフ11」

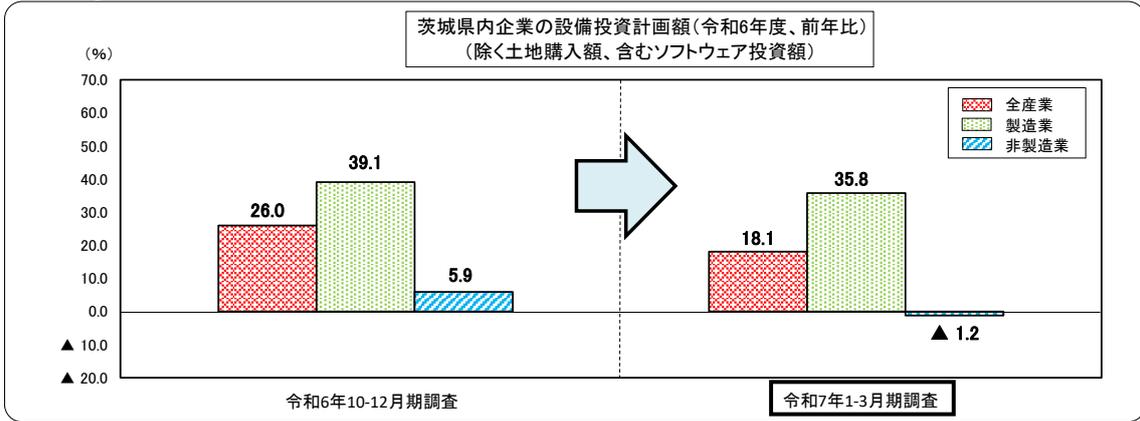


(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査」)

4. 設備投資

6年度は増加見込みとなっている

「グラフ12」

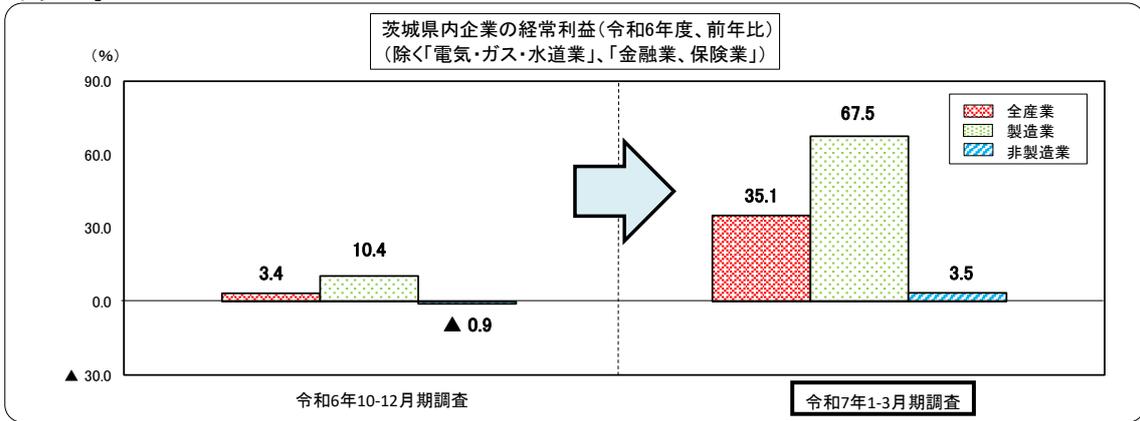


(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査」)

5. 企業収益

6年度は増益見込みとなっている

「グラフ13」

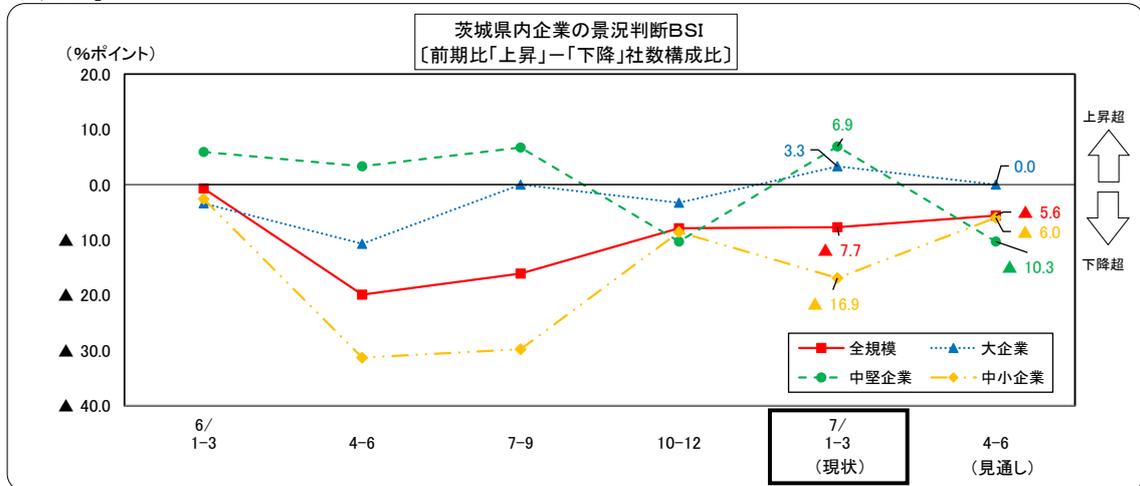


(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査」)

6. 景況感

「下降」超幅が縮小している

「グラフ14」

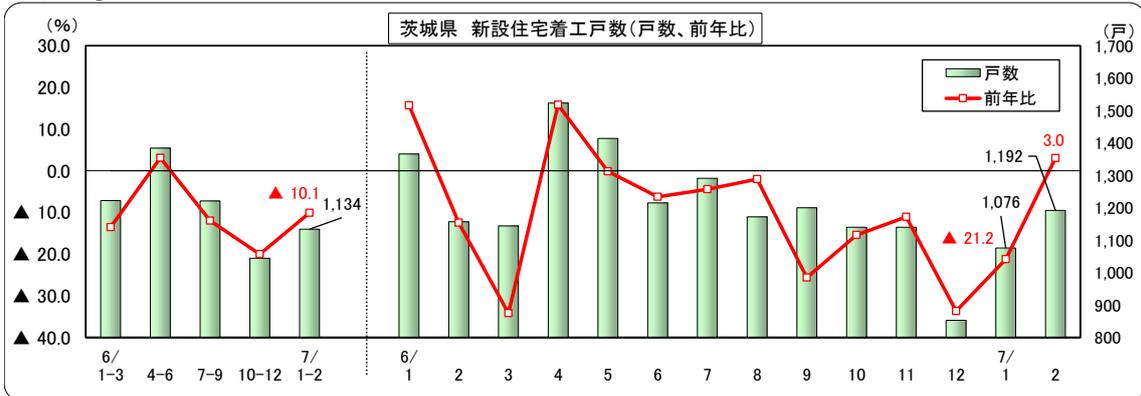


(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査」)

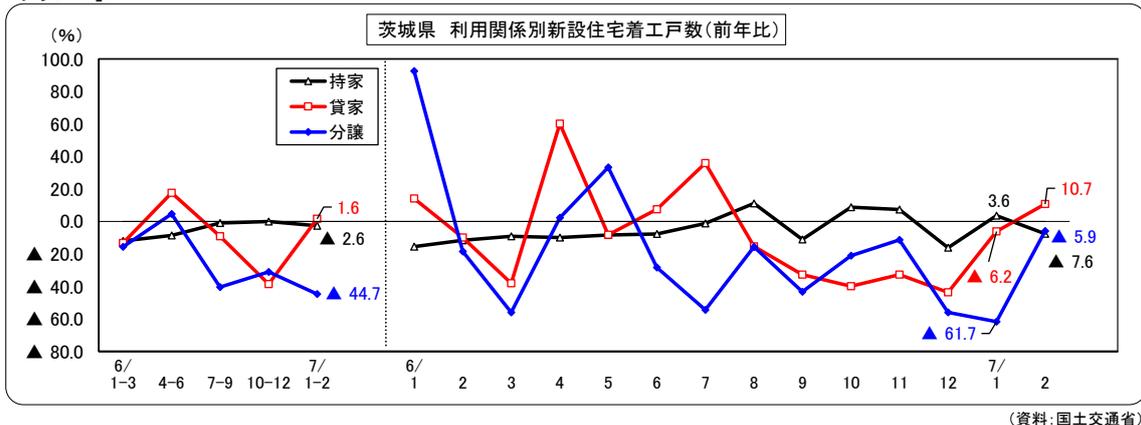
## 7. 住宅建設

### 前年を下回っている

「グラフ15」



「グラフ16」



## 8. 公共事業

### 前年を下回っている

「グラフ17」



## 9. 企業倒産

### 件数、負債総額ともに前年を下回っている

「グラフ18」

